

「骨寺通信」第49号

発行:本寺地区地域づくり推進協議会
岩手県一関市敵美町字若神子241-2 骨寺村荘園交流館内

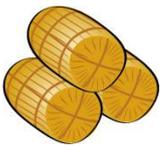


謹賀新年

新年を迎え皆様の
ご健康とご多幸を
お祈り申し上げます

本年も宜しく
お願い致します

中尊寺との絆、より深く



中世の時代、骨寺村は経蔵別当領として中尊寺を経済的に支えてきた荘園でした。その時代より続いてきた米納めは、戦後になって途絶えましたが、中尊寺との歴史的つながりを守り伝えることを目的とし、4年前より『骨寺村荘園 中尊寺米納め』の行事として復活しました。

今年は12月18日(日)に開催。骨寺村荘園オーナーの皆さんや岩手大学の学生さん、関係機関の方々、地元住民など約70名の皆さんに参加いただきました。

前夜からの雪で一面真っ白となった骨寺村荘園を出発。時折吹く吹雪に身を縮ませながらの巡行となりました。慈恵塚拝殿で安全祈願をしたのち、バスで平泉まで移動。その後平泉駅前を再出発、町内を通して中尊寺経蔵を目指します。

町内では沿道の方が家から出てきて激励をいただいたり、中尊寺に入ると大勢の観光客の皆さんにカメラを向けられました。

勾配が険しい月見坂を登りきると、米俵や薪を担いだ荷担人からはホッとされた表情が。

本堂に立ち寄り参拝したのち、いよいよ金色堂脇の経蔵に到着、無事に今年採れた荘園米を奉納することができました。



供物を奉納した経蔵前にて。中尊寺の山田貫首、菅原住職を囲んでハイ、チーズ!お疲れ様でした。



駒形根神社を出発、雪が降り積もった荘園内を進みます。



平泉入りした一行は、無量光院跡前を通り中尊寺へ。



金色堂前まで来ると、目的地の経蔵はすぐそこです。

骨寺村荘園 中尊寺米納め



骨寺村なう。



12月ともなると、骨寺村荘園も日に日に雪深くなります。晴れた日でも北風が吹くと、積もった雪が舞い上がり、地吹雪が起きます。骨寺村の特徴的な景観の一つであるイグネは、そんな地吹雪からも家々を守っている様子がよくわかります。

年末には地元のみなさんが集まって、若神子亭の大掃除をしました。7月のオープン以来お世話になった建物を、心をこめてキレイにしました。大掃除の後は、みずきならし(みずき飾り)を若神子亭と古曲田家に飾りました。



春の

骨寺村荘園で 夕日を見る会



毎年9月、お彼岸の中日に開催しておりました『骨寺村荘園で夕日を見る会』。昨年は山頂に雲がかかり、残念ながらきれいな夕日を拝むことができませんでした。

そこで今年は、秋よりも晴れる確率が高い(らしい)春のお彼岸に開催いたします!下の写真も春のお彼岸の中日に撮れたものなんです。

開催は **3月20日(春分の日)** の予定です。詳細は追ってお知らせいたします。

